

市長戦略部長 様

地域生活部長 様

行政経営部長 様

提 言 書

令和5年2月17日

島田市議会 総務生活常任委員会

【市民と共に推進するごみ減量化への提言】

総務生活常任委員会では、令和4年5月に実施した議会報告会で得られた政策課題として、「ごみの減量化」について調査・研究に取り組んできた。中でも、ごみ処理において先進的な取組を進める豊橋市の視察は、徹底した分別と再資源化、生ごみと汚泥を活用したバイオマス発電の取組等、SDGsの目標にかなう事業であるとともに、ごみの再資源化が市民生活に還元されることがごみ処理に対する市民意識の向上につながっていることを知る機会となった。

その他にも、ごみ減量の必要性を市民に周知し理解を深めるため、議会だより令和4年6月定例会号において、市民との意見交換会の様子を特集記事として掲載した。

また、市内で環境課題等について取り組む市民グループと意見交換を行う等、議会報告会の参加者以外の市民からも様々な意見を聴くことができた。これらの活動を通し、ごみ処理の有料化を検討する以前に、市民全体でさらなるごみの減量化を推進する方針を見出すことの重要性を感じた。

当委員会では、まず、議会内でのごみ減量化を目指し、不要な紙媒体資料の廃止や、次年度以後の議員用会議録配付の廃止、データ化した議案の閲覧等、ペーパーレス化を検討・推進し、議員の意識向上に努めた。

市では、ごみの減量化について、様々な対策を講じているが、燃えるごみの量は、ほぼ横ばいの状態である。また、燃えるごみの4割が生ごみ、3割は雑紙や布類であり、多くが見直せるごみであることなどの課題がある。

今後も継続してごみの減量化を推進することについて、市民と協議する場を持ち、ごみの減量化への意識を今一度向上させる取組が必要と考え、以下の通り提言する。

1. 出前講座やワークショップなどを通して、市民参加型の取組を図られたい。
2. 市民と共に、ごみの減量目標と具体的な取組の協議や推進を図られたい。
3. 市民と共に協議した、ごみの減量化や分別等の取組を、広く周知し、市全体として取り組むことができる体制を構築されたい。
4. 庁内のDX化を推進し、率先垂範の姿勢で全庁的なペーパーレス化を図られたい。